

平成30年度
当初予算

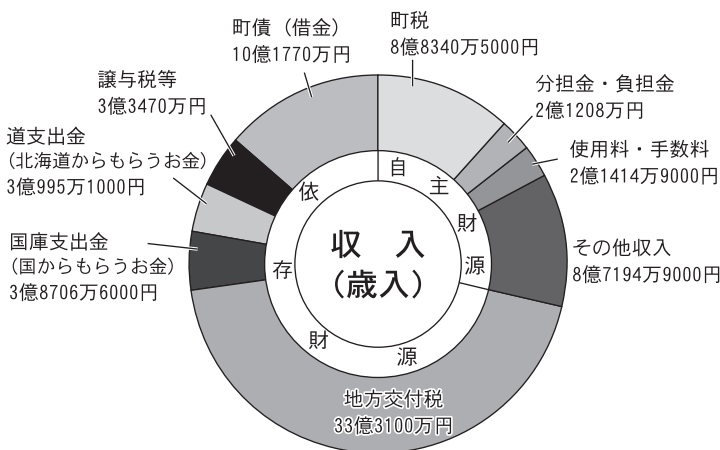
総額 **114億円** 可決

さまざまな150年記念事業を実施

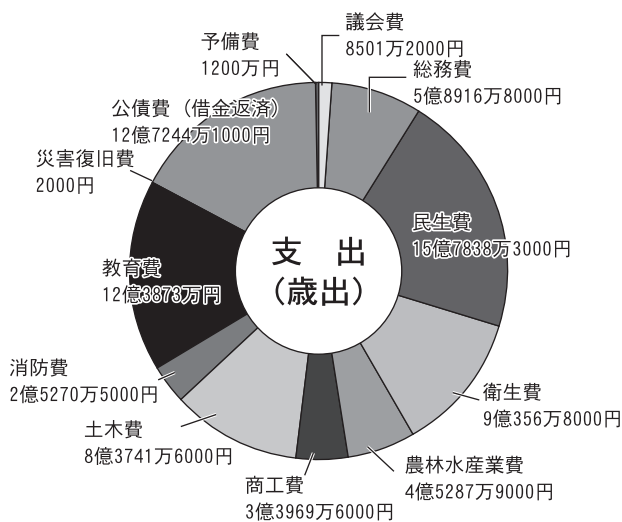
第1回 町議会定例会

平成30年第1回定例会が、3月6日から16日まで11日間の会期で開かれました。条例の一部改正や補正予算、平成30年度予算などを審議し、いずれも原案どおり可決、閉会しました。

☆平成30年度一般会計予算



収入（歳入）合計 75億6200万円



支出（歳出）合計 75億6200万円

☆行政報告

【町長】9件 ※主な報告事項のみ掲載しています

◇第5次まちづくり推進総合計画「第3期実施計画」の見直し

見直しにより1億166万4000円の増となり、総事業費は90億2536万7000円。

◇公営住宅等長寿命化計画の見直し

◇第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・第2期障害者計画（平成30年度から平成32年度）の策定

◇3月1日に発生した大雪と3月8日から9日にかけて発生した大雨による被害状況

◇大規模な雪崩、土砂流出による天馬街道の通行止め

☆主な審議事項と結果

件名（一部省略しています）	審議結果
新国民健康保険制度への移行 - これまで各市町村が運営してきたが、平成30年度からは中心的役割を都道府県が担い、運営することとなったため、必要な条例を改正。	原案可決
介護保険料は据え置き - 平成30年度から3年間の介護保険料基準額を現行据え置き（月額2800円）とした。	原案可決

件名 (一部省略しています)	審議結果
平成29年度一般会計ほか8会計予算の補正 ・9会計の補正予算は、予算審査特別委員会で審査した結果、可決すべきと決定。 7日の本会議で原案のとおり可決した。 また、除雪費の追加、大雨被害による災害復旧費に伴う補正予算が追加で提案され、9日と16日の本会議で原案のとおり可決した。	原案可決
平成30年度一般会計ほか9会計予算 ・10会計の新年度予算は、予算審査特別委員会で審査した結果、可決すべきと決定。 16日の本会議で原案のとおり可決した。	原案可決

一般質問

3月9日(金)

☆北藤利通、前崎 茂、旗手恵子、^{おだ}小田雅二、山谷照夫 の5議員が行いました。

【北藤議員】 ①オソウシ牧場の利活用について

②サンランド事業の新たな取り組みは

【前崎議員】 ①住民に寄り添う国保病院の経営改善を

②学校給食費の助成と第3子以降の無償化を

【旗手議員】 ①生活保護費の削減と関連施策への影響は

②子どもの医療費助成拡大を

【^{おだ}小田議員】 ①高齢者の自動車免許の自主返納を促進するための町としての方策は

②空き家、空き地対策について ③子ども農山漁村交流から始めるまち・ひとづくり事業について

【山谷議員】 ①「高規格幹線道路帯広・広尾自動車道」の現状と今後の見通しは

意見書・決議の審議

3月16日(金)

※可決された意見書は、国及び関係機関に提出しました。

件名	審議結果
地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書	原案可決
核兵器廃絶の実現に真剣に努力し、日本政府が速やかに核兵器禁止条約に調印することを求める意見書	原案可決
生活保護費の減額に関する意見書	原案可決
高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受け入れを拒否する決議	原案可決

どうなる？国保病院

「地方独立行政法人への移行を検討すべき」

第三者検討委員会から答申

3月6日に議長を除く全議員で構成する「国保病院のあり方に関する調査特別委員会（浜頭勝委員長）」が開催され、外部委員によるあり方検討委員会からの答申内容について、町長から報告がありました。

答申では、病院経営の問題点を指摘したうえで、全国のさまざまな病床規模の公立病院が改革に成功している「地方独立行政法人」への移行を検討するよう提言しています。

これを受けて町は、役場内部の検討委員会で協議を行い、4月中旬頃に経営形態の見直しにかかる方針を決定する予定であり、議会としてはその方針が示されてから本委員会で議論を行っていきます。

☆一般質問や質疑、議案の賛否状況等の詳細については、6月発行予定の議会だよりに掲載します。

また、広尾町のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。( をクリック！)